

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計(   ) <input type="checkbox"/> 企業会計(   )			財務会計上の短縮番号	6077
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5021	1	担当部課名	教育部 教育政策課	
				担当課長名	今川恵美子

## 1 事務事業の概要

施策名	学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興				
第1期実施計画の事業名	教育コミュニティ推進事業				
財務会計上の事業名	教育コミュニティづくり推進事業				
事業の対象【誰(何)を】	市立学校園、保育所の園児・児童・生徒およびその保護者、市民				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	各中学校区で教育コミュニティづくり推進委員会を設置し、事業の企画、立案、実施を行う。				
事業の目的【どのような結果を得るか】	地域の教育力の向上を図り、子どもの生きる力を促進する。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成   年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限(平成   年度~平成   年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成23年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	H23年度、国の委託事業が補助事業(教育コミュニティづくり・学校支援地域本部・家庭教育)に変更。				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	大阪府補助金交付規則(昭和45年大阪府規則第85号)第13条				

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		3,199		786		589		
内訳	人件費(人・千円)	0.40	3,200	0.60	3,800	0.55	3,330	0.30	1,920	91.7%
	正職員	0.40	3,200	0.40	3,200	0.35	2,730	0.20	1,560	87.5%
	再任用短時間勤務職員		0	0.10	360	0.10	360	0.10	360	100.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0	0.10	240	0.10	240		0	100.0%
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			6,399		4,586		3,919		2,420	85.5%
財源	国・府支出金		3,099		268		268		214	100.0%
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		3,300		4,318		3,651		2,206	84.6%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくり推進連絡会	回	4	4	4	4	4
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくりに係る研修会	回	2	1	2	2	2
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくりに係る研修会参加人数	人	111	32	41	60	100
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援人材バンク登録人数	人	159	256	316	350	400

## 3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	平成23年度に教育コミュニティづくり推進連絡会の運営方式を事務局主導から地域住民主導に変更した形態を継続することで、双方向の活発な意見交流が行われた。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	学校・家庭・地域の3者が協働することが基本であるため

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
教育コミュニティづくりに対する教職員の当事者意識の温度差や学校支援ボランティアの高齢化に伴う次世代育成が課題である。その解決に向けた研修や啓発活動の実施が行政の責務であり、事務局としても現場に数多く足を運び、それぞれの取り組みを支援するとともに、好取り組みについての発信に努める。	地域人材の活用を望む学校園のニーズに応え、学校支援ボランティアの登録が徐々に増加している。文科省委託「社会教育による地域の教育力強化プロジェクト事業(平成23年度のみ)」の研究において、学校園の取り組みを情報発信していく重要性が判明したため、今後は市民啓発の拡充と一層の人材確保をめざす。

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )			財務会計上の短縮番号	6080
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5021	2	担当部課名	教育部 教育政策課	
				担当課長名	今川恵美子

## 1 事務事業の概要

施策名	学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興				
第1期実施計画の事業名	学校支援地域本部推進事業				
財務会計上の事業名	学校支援地域本部推進事業				
事業の対象【誰(何)を】	市内各中学校区(小・中学校)				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	学校支援地域本部を設置し、教職員、保護者、地域住民の連携を強める。				
事業の目的【どのような結果を得るか】	地域の教育力の活性化を図り、豊かな人間関係の中で子ども一人ひとりの「生きる力」と「確かな学力」を育む。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成23年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	平成23年度より、国委託事業「学校支援地域本部事業」が補助事業に変更されたことに伴い、新たに本事業をおこした。				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	大阪府補助金交付規則(昭和45年大阪府規則第85号)第13条				

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分		22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
	事業費(千円)					2,264		1,993		1,600	
人件費(人・千円)			0.00	0	0.30	1,400	0.40	2,160	0.30	1,920	133.3%
内訳	正職員			0	0.10	800	0.20	1,560	0.20	1,560	200.0%
	再任用短時間勤務職員			0	0.10	360	0.10	360	0.10	360	100.0%
	任期付短時間勤務職員			0		0		0		0	-
	非常勤職員			0	0.10	240	0.10	240		0	100.0%
	アルバイト			0		0		0		0	-
支出合計 A			0		3,664		4,153		3,520	113.3%	
財源	国・府支出金					1333		1328		1066	99.6%
	受益者負担 B										-
	その他財源										-
	一般財源		0		2,331		2,825		2,454	121.2%	
受益者負担率 B÷A											-

指標値	区分	内容	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (予定)	目標値 (H26)
	(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	学校支援地域本部の設置	校		16	16	16
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	拠点整備	校		16	16	16	16
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援コーディネーターの活動回数	回		1017	958	1120	1120
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	学校を拠点として地域の活動が活性化され、よりよいコミュニティを形成する体制づくりが進んでいる。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	池田中学校区では、NPO(マイ・タウン・プロジェクト)が中心となり、学校支援と生涯学習(地域住民の居場所づくり)を展開している。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
各学校支援地域本部の情報が中学校区の中で十分に共有されていない場面が見られたので、中学校区単位で開催される推進委員会での情報交流や支援員同士の交流を促進することで、小中一貫教育を意識した活動の活性化を図ることが必要である。	今後も、それぞれの学校支援地域本部の特徴ある取り組みやその成果について情報提供に努めるとともに、学校支援コーディネーターや学校支援ボランティアの研修を実施し、よりよいコミュニティの形成に努める。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )		財務会計上の短縮番号	6975
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5023	1	担当部課名	教育部教育センター
			担当課長名	加藤美穂代

1 事務事業の概要

施策名	学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興			
第1期実施計画の事業名	こども会育成事業			
財務会計上の事業名	こども会育成事業			
事業の対象【誰(何)を】	市内在住の就学3年前の幼児から中学3年生まで			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	地域が育むこども会の活動を支援するとともに指導者やリーダーの養成を行う			
事業の目的【どのような結果を得るか】	子どもの仲間集団による活動を通じて、子どもの健全な心身の発達を地域の大人の協力を得て育成する			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和37年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)			
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施			
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度(決算)		23年度(決算)		24年度(決算)		25年度(予算)		H24/H23				
		事業費(千円)	2,004		1,960		1,984		2,081		101.2%			
人件費(人・千円)	0.80		3,760		0.80		2,580		0.50		2,640		100.0%	
内訳	正職員	0.20		1,600		0.20		1,600		0.20		1,560		100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.60		2,160		0.60		2,160		0		0		0.0%
	任期付短時間勤務職員			0				0				0		-
	非常勤職員			0				0				0		-
	アルバイト			0		0.60		1,020				0		-
支出合計 A		5,764		5,720		4,564		4,721		79.8%				
財源	国・府支出金													-
	受益者負担 B													-
	その他財源													-
	一般財源	5,764		5,720		4,564		4,721		79.8%				
受益者負担率 B÷A														-

指標値	区分	内容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値(H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	単位こども会(小学生の加入率)	%	33.06	30.23	29.71	30	33
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	リーダー組織の登録人数	人	233	183	224	200	230
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	会員(幼児、小学生、中学生)	人	2,096	1,925	1,826	1,800	1,850
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	主な行事の参加者数(トッジホール等)	人	905	941	829	850	900

3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 地域の子どもは地域で育てることを浸透させる
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 池田市こども会育成連絡協議会が事業運営している。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策 小学生のこども会加入率を上げるための指導者・育成者研修の実施していく。また、こども会行事において工夫した取組みが実施できるよう支援していく。	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」 こども会行事への参加率を上げるよう支援していく必要がある。
--	---

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )	財務会計上の短縮番号	6980	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5023	2	担当部課名	教育部教育センター
				担当課長名

## 1 事務事業の概要

施策名	学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興
第1期実施計画の事業名	少年団体育成事業
財務会計上の事業名	少年団体育成事業
事業の対象【誰(何)を】	市内在住の青少年
事業の手段【どうする(させる)ことで】	市内のボーイスカウトおよびガールスカウト活動に対し、行事報償金を支援することにより、青少年の健全育成団体の運営、活動の支援を行う
事業の目的【どのような結果を得るか】	市内のボーイスカウトおよびガールスカウト活動の活性化と団員の増加を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		126		126		126		
人件費(人・千円)		0.10	360	0.10	360	0.10	780	0.10	570	100.0%
内訳	正職員		0		0	0.10	780	0.05	390	-
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.10	360		0	0.05	180	0.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			486		486		906		696	186.4%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		486		486		906		696	186.4%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ボーイスカウト団員数	回	225	210	210	210	210
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ガールスカウト団員数	回	95	68			
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ボーイスカウト団数	人	5	5	5	5	5
(4)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ガールスカウト団数	回	2	2	2	2	2

## 3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	青少年健全育成団体として世界規模で活動しているボーイスカウト・ガールスカウトであるが、近年加入者が減少している
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	青少年の健全育成団体であるボーイスカウト・ガールスカウトの活動支援を行う事業であるため。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
今後もボーイスカウト・ガールスカウトの活動が活性化するよう支援を継続する。	少年団体の活動が少しでも活性化できるよう支援を続けていく。

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計(   ) <input type="checkbox"/> 企業会計(   )	財務会計上の短縮番号	7015	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5023	3	担当部課名	教育部 教育センター
				担当課長名

## 1 事務事業の概要

施策名	学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興
第1期実施計画の事業名	少年の主張開催事業
財務会計上の事業名	少年の主張開催事業
事業の対象【誰(何)を】	市内小・中学校の児童・生徒
事業の手段【どうする(させる)ことで】	地域や社会から感じたこと、考えること、訴えたいことなどの作文を募集し、その中から優秀作品を選出し、応募者本人の言葉で人前で発表してもらう
事業の目的【どのような結果を得るか】	小・中学生に社会の一員としての自覚と行動を促し、青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を深める。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成3年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		59		77		67		
人件費(人・千円)		0.20	1,160	0.20	1,160	0.20	1,140	0.30	1,500	100.0%
内訳	正職員	0.10	800	0.10	800	0.10	780	0.10	780	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.10	360	0.10	360	0.20	720	100.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			1,219		1,237		1,207		1,582	97.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		1,219		1,237		1,207		1,582	97.6%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	発表大会出場者数	人	18	18	18	18	18
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	応募作品数	作品	339	362	748	500	500
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	子ども達が自分の言葉で自分の思いを人前で発表することにより、社会のことを理解する。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	青少年指導員協議会の協力を得て事業運営するため。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
社会に関心を持ち、社会の一員であるという意識の醸成のために、少年の主張は機会提供として重要。今後も学校との連携が必要。	児童・生徒のコミュニケーション力育成が課題であり、少年の主張は育成のための機会提供としても重要。今後も学校との連携が必要。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )			財務会計上の短縮番号
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5023	4	担当部課名	教育部 教育センター
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興			
第1期実施計画の事業名	成人の集い開催事業			
財務会計上の事業名	成人の集い開催事業			
事業の対象【誰(何)を】	新成人			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	新成人による「成人の集い」実行委員会を設置し、実行委員による運営を行う			
事業の目的【どのような結果を得るか】	成人の日を迎えるにあたり新成人が一堂に会して成人になったことを自覚するとともに未来を祝福する			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度 ~ )		<input type="checkbox"/> 時限(平成 年度~平成 年度)	
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度		<input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度	
※根拠となる法令の条項までを記入				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		1,211		1,244		1,248		
人件費(人・千円)		0.30	1,080	0.30	1,080	0.40	2,280	0.35	2,310	133.3%
内訳	正職員		0		0	0.20	1,560	0.25	1,950	-
	再任用短時間勤務職員	0.30	1,080	0.30	1,080	0.20	720	0.10	360	66.7%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			2,291		2,324		3,528		3,560	151.8%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		2,291		2,324		3,528		3,560	151.8%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加率	%	67	65	66.8	65	70
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加者数	人	729	675	681	650	650
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 新成人が運営することにより参加者の減少は少なく、自覚を持ってもらっている
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 会場(池田市民文化会館)の使用についてはISSに業務委託しており、式典運営についてもっとも精通しており、その経験と実績により充実した行事の遂行が確保されているため。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策 新成人代表、ISSとも連携して内容を検討。これからの地域を支える青少年の健全育成のため、市をあげて新成人を祝う意味は大きい。	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」 これからの地域を支える青少年の健全育成のため、市をあげて新成人を祝う意味は大きい。内容の検討も必要。
--	--

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )			財務会計上の短縮番号 7035
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5023	5	担当部課名	教育部 教育センター
				担当課長名 加藤美穂代

1 事務事業の概要

施策名	学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興			
第1期実施計画の事業名	1/2成人式開催事業			
財務会計上の事業名	1/2成人式開催事業			
事業の対象【誰(何)を】	市内在住の小学4年生			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	実行委員会による企画・運営			
事業の目的【どのような結果を得るか】	10歳を成人までの中間点と位置づけ、それまでの育ちを振り返って祝うとともに、20歳の成人式での再会を誓う。			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成17年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)			
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施			
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度(決算)		23年度(決算)		24年度(決算)		25年度(予算)		H24/H23
		事業費(千円)	611		617		617		617	
人件費(人・千円)	0.30, 2,400		0.30, 2,400		0.20, 1,560		0.10, 780		66.7%	
内訳	正職員	0.30, 2,400		0.30, 2,400		0.20, 1,560		0.10, 780		66.7%
	再任用短時間勤務職員	0		0		0		0		-
	任期付短時間勤務職員	0		0		0		0		-
	非常勤職員	0		0		0		0		-
	アルバイト	0		0		0		0		-
支出合計 A		3,011		3,017		2,177		1,397		72.2%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	3,011		3,017		2,177		1,397		72.2%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値(H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加率	%	54	52	61	58	70
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加者数	人	531	516	566	550	651
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 事業がしっかりと浸透し、各小学校の協力を得ながら、年々一定の参加率が確保されており、小学4年生が10歳までの育ちを振り返る良い機会となっているため。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 会場(池田市民文化会館)の使用についてはISSに業務委託しており、行事運営についてもっとも精通しており、その経験と実績により充実した行事の遂行が確保されているため。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策 10歳というのは、世話をしてもらうだけの立場から、世話をできる立場へと移行する大切な時期でもあり、地域に根ざした子どもを育てるためにも事業の継続は重要であるとする。平成27年度には初の1/2成人式を経験した子どもが成人する。池田市独自行事として定着した取り組みであるが、さらなる発展を目指し内容を検討していきたい	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」 池田市の独自行事として定着し、平成27年度には初の1/2成人式を経験した子どもが成人する。地域に根ざした子どもを育てるため1/2成人式を継続させるとともに、内容の検討も必要。
--	---